

様式第3号（第10条関係）

会 議 録

会議の名称	第2回白岡市上下水道事業審議会
開催日	令和6年8月23日（金）
開催時間	午前10時から午前11時20分まで
開催場所	白岡市役所 3階 庁議室
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	青木保、佐藤肇、中山廣子、矢島静江、関美恵、江原晃、遠藤良和、木村敏博 8人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	岡安広、黒須大一郎 2人
説明員の職・氏名	上下水道部長兼経営課長 内田学 経 営 課 主幹 石川剛、主査 井上和也
事務局職員の職・ 氏名	上下水道部長兼経営課長 内田学 上下水道課 課長 安藤勝、課長補佐 安野隆三、主幹 齋藤三彦、 主幹 金子桂輔 経 営 課 主幹 石川剛、主査 井上和也
その他会議出席者 の職・氏名	市長 藤井栄一郎
傍聴者数	なし
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）経営戦略（案）について （2）上半期評価について （3）料金水準について 4 その他 5 閉会
配布資料	・次第 ・資料番号1 白岡市公共下水道事業経営戦略（案） ・資料番号2 下水道使用料の水準について ・第1回会議の会議録

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 事 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事務局の司会進行により開会する。
青木会長	2 挨拶 青木会長から挨拶がなされる。
藤井市長	藤井市長から挨拶がなされる。 (藤井市長退席)
事務局	3 議事 白岡市上下水道事業審議会条例第6条第1項の規定では、会長は議長となることとなっておりしますので、ここからは、青木会長に進行をお願いしたいと存じます。
青木会長	それでは、議長を務めさせていただきますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。 (1) 経営戦略（案）及び(2) 上半期評価について はじめに、(1)経営戦略（案）と(2)上半期評価については、関連がございますので、一括して、事務局の説明を求めます。
事務局	議事「(1)経営戦略（案）について」と「(2)上半期評価について」を説明する。
青木会長	説明が終わりましたが、何か御質問はございますか。
H委員	現金では、金利がつく時とつかない時があるが、企業債が約4～5億円ある。金利は低いとは思いますが、この計画には、その金利の収入と支出についての記載が見当たりません。5億円を起債した場合、2%だと1,000万円くらいにはなると思いますが、この計画には反映されていないのでしょうか。
事務局	収入では、預金金利は決済用預金のため、当座で利息のつかない預金となっておりますので計上しておりません。これは、水道事業では、現金を持ち合わせているため一部定期預金に預け入れています。下水道事業は必要最低限しか現金を持っていないためです。支出ですが、企業債を借りる際の支払金利については、資料1の43、44ページの中段「2. 営業外費用」の下、(1)支払利息の欄にございまして、過去の企業債は借入どおりの利息について計上し、令和6年度以降の借入の見込みにつきましては、一律年2%として設定して積み上げたものでございます。
H委員	市の人口推計では、5万2,000人から、5年後には4万7,000人にまで減っていく推計となっている。住民税を納めている市の人口が減っても耕作放棄地

	への新たな企業進出により、昼間人口は増えていくのではないのでしょうか。昼間人口が増えれば、市の人口が減っても、上下水道を使用する人口が増え、昼間人口ベースが本当の上下水道利用者であると思いますがどう考えていますか。
事務局	上水道使用者の人口は、令和4年度から5年度まででは減少しています。市の人口は減少傾向にありますが、水道の契約件数は増えています。これは、昼間人口が増えていることも、一つの要因であると考えられます。下水道については、整備区域が主に市街地であるため、区域内人口は増えています。公共下水道事業の投資財政計画では、基本料金は増加していく傾向で積算しており、超過（水量）料金は減少しています。市の人口の減少と水量の減少、昼間人口についても、バランスをみて推計に入れています。
H委員	資料2の10ページにありますが、負担の基本的な考え方が他市とは随分違うと感じました。白岡市はもともと農業の町で、工業団地とか企業が来ていなかったというのも根本的にあると思います。これからは耕作放棄地などの工業団地ではない場所に企業立地が増えてきます。先ほど話をした昼間人口が増えていきますので、水量が増えて当然だと思いますが、他市町との考え方の違いは、どのようなところからなのでしょう。
事務局	白岡市では、一般的に一般家庭の基準となる1か月20m³では、他市町と比較して高くなっております。政治的な判断をする時に、一般家庭の料金を上げづらいというのも一因であると思います。そのため、他市町では一般家庭の料金を高くしすぎないという団体が多く見受けられます。一番下の表にあるとおり、他市町では一般家庭と多量に使用する企業では、同じ1m³でも単価が2倍以上違っていますので、不公平感を感じる場所でもあります。その差額については、必要十分であればよいというのが、今までの料金改定での白岡市の考えでございます。他市町では、一般家庭に配慮し、その分を企業に負担していただきたいということではないかと思っています。
D委員	資料1の20ページにある表を見ると、白岡市の下水道使用料は他市町と比べて高いと再認識すると思います。白岡市は企業を誘致する際に、多量に水を使用する企業に上下水道料金の優遇措置がありますか。他市町では、企業誘致する際に優遇措置しているとは思いますが、企業が増えれば、その分一般家庭の料金が少し安くなるのではないのでしょうか。
事務局	これまで水道事業として、一部の企業などに優遇措置を設けるような制度を実施したことはありません。一方で、市全体として企業誘致の際に税制度の優遇措置などの施策をとったケースはあります。今後も企業誘致を行う場合には、上下水道料金ではなくこのような施策になるのではないかと思います。
D委員	この料金を見たときに、安いところと比べて、高いという意識が住民の方に根付

	くのではないかと心配になりお聞きしました。これだけ近隣と料金が違うと、白岡市は企業努力をしていないのか、５年ごとに料金を上げて、一般家庭に負担させればよいという印象を受けてしまいます。
青木会長	(3) 料金水準について 次の議事にも関連しますので、次に(3) 料金水準について、事務局の説明を求めます。
事務局	議事「(3) 料金水準について」を説明する。
青木会長	説明が終わりましたが、何か御質問・御意見をお願いします。
C委員	事務局としては、すぐに料金改正をする必要はないとのことですが、下水道の供用地域を拡げていく考えはありますか。
事務局	下水道区域については、整備が完了しておりませんので、今後供用開始する地域もございます。経営戦略や料金改定の水準に見込んでいない増収要因としまして、白岡工業団地、農業集落排水地域への接続を予定していますので、経営戦略外での増収が見込まれるものと考えます。
C委員	具体的には、白岡中学校北側の開発周辺地域、サラダボウルの事業用地、西部産業団地、篠津押出志部地区に対する今後の考え方をお聞かせください。
事務局	前回の審議会で示しました全体計画の改定の中では、白岡工業団地、農業集落排水地域への接続までを示したものです。その後につきましては、今後検討していくものと考えております。
F委員	資料２の８ページに他市町との料金比較表がありますが、市民は白岡市の下水道料金がなぜこんなに高いのかと感じると思われますが、逆に一番安い幸手市はこれで経営が成り立っているのでしょうか、市からの補助金が入ってきているということでしょうか、分かる範囲でお願いします。
事務局	御指摘のとおり、幸手市においては料金水準が低く、７ページにありますとおり経費回収率は約５５％、経費の約４５％が足りていないため、赤字となっている状況でございます。これは、県内でも、最も低い経費回収率となっております。
E委員	息子家族が４人で蓮田市に住んでいます。この委員になって、水道料金について息子に確認したところ、蓮田市の４人家族より白岡市の２人家族のほうが高いことが分かりました。現在は、物価高も伴って、年金生活の方が多くなって、節約できるところはより節約しようと水の使い方を考えている人が多いと思います。事務局の説明によると、一人ひとりが支出を減らそうと努力し使用量が減ってくるとそれ

	が弊害となって、料金改定をしてまた値上げとなるかもしれないということです。それでは一般家庭では何を努力していけばよいのか不安になると思います。
事務局	確かに節水傾向が、逆に減収の要因の一つになると捉えています。今後、節水努力をしていただいた結果、料金改定が必要となる状況にはならないとは言い切れないところでもあります。委員に御指摘いただいた企業誘致や今後接続予定の白岡工業団地内でより水量を使う企業が増えてくると、節水の傾向もある程度歯止めがかかるのではないかと想定しています。節水と節水に対する料金の増減については、どの自治体においても、バランスを取りながら経営しなくてはならないと考えております。 近隣市町も含め先ほど説明しましたが、県へ支払っている流域の維持管理負担金が増額となる予定ですが、白岡市は先駆けて料金改定をした結果、令和7年度からの維持管理負担金の増額に対しては値上げしなくても済み、その結果が適当であると推測できました。他団体では必ずしもそうではない可能性があるため、今後白岡市以外でも料金改定が行われる可能性が高いのではないかと考えられます。白岡市と同じ料金水準まではいかないかもしれませんが、近隣市町が値上げすることで、ある程度は差が縮まっていくものと考えます。
E委員	日本は、法人税も低い水準となっており、白岡市の水道料金も企業にかなり配慮しているのも、もっと企業に負担してもらって一般家庭の負担を少なくしてもらった方がよいのではないかと思います。
事務局	現在は、料金水準を上げる必要がないという内容となっていますが、今後料金改定をする場合については、料金体系についても検討が必要であると思います。前回の二段階の料金改定の際にも料金体系の検討は行いましたが、現在の体系が適当であるということで、一般家庭も多量に水を使用する企業も一律同率で引上げさせていただいております。
青木会長	今回の料金改定の際には、そういったところも検討していただけたらと思います。
上下水道部長	公営企業となりますので、汚水処理に使う経費は下水道事業内で必要な経費を賄うことが原則となります。先にお示しした資料にありますとおり、白岡市は他市町に先駆けて二段階で料金改定を行っているため、他市町と比べ高くなっております。しかし、資料2の7ページにあるように経費回収率が低い団体は、一般会計からの繰入金で経営しているというのが実態です。一般会計から繰り入れているということは、その分本来使うべきだった福祉や道路整備など市民の生活のためにやらなければならない事業が影響を受けてしまうということになります。今後、県においても、負担金を上げるという話がありますので、他市町も料金改定を検討しているかと思います。団体ごとに料金を上げて賄うか、一般会計から繰り入れていくのか、どの団体も考えていると思われますので、近隣との料金格差も小さくなってい

	くのではないかと考えます。
H委員	資料2の7ページを見ると事業経営の観点からは、費用をほぼ賄えているというのはよくできていると思います。経費回収率の低い市町のように、これだけ赤字経営となっているのはめっちゃくちゃであり、企業経営とは言えません。白岡市の下水道については、良くできているため感心しました。白岡市が年々高齢化していくということは、新しい人たちが入ってこなくなり、街の活気がなくなり、シルバータウン、ゴーストタウン化してしまいます。新しい人たちが入ってくるためにも、上下水道料金が高いことで他市町に行ってしまうのではないのでしょうか。新しい人たちを呼び込むための努力としては、様々な観点があるとは思いますが、もっと戦略的に上下水道料金を考えていただきたい。
C委員	資料2の8ページに同規模事業体平均とありますが、これは資料1の12ページにあるように総務省が出しているものであるというのは分かります。白岡市が含まれる類型区分となる団体はどのくらいあるのでしょうか。
事務局	令和4年度の決算となります最新情報では、白岡市を含んで全国62団体ございまして、埼玉県内で言いますと飯能市、加須市、鴻巣市、蓮田市、日高市、伊奈町が含まれております。
A委員	経費回収率ですが、大きな要因として一般会計から補填という話がありましたが、その他に大口利用者がそんなに多く占めているのでしょうか。白岡工業団地にこれから接続するということですが、大量に水を使う企業は少ないと思います。吉川市や伊奈町でも、大口利用者は多くはないような気がします。今後、街づくりに必要となってくると思いますが、企業を誘致する際に大口利用者の誘致はなかなか難しいと思いますが、例えば入浴施設は多量に排水すると思います。入浴施設などは大きな投資をせずに済むと思われるため、街づくりという観点からも、上下水道の経費回収率を上げるような、そういう努力をしてほしいと思いますがどうでしょうか。
事務局	大口利用者と比較しますと、一般家庭が多く占めております。そのため、一般家庭の値上げ額を1円抑えるためには大口企業の値上げ額は、その3倍、4倍と大きく上げる必要があり、かなり高い負担をしていただかないとバランスをとることができません。前回の二段階改定では、体系維持するため一般家庭の値上げ率を少なくし、その分大口企業に大きな負担をしてもらう案もありましたが、二段階で改定率を合計36%としました。一般家庭を30%に抑えるには、企業側は50～60%の値上げとなってしまうと公平感がなくなるということから、体系はそのままとして一律改定としたという経緯があります。その結果、他市町と比べて一般家庭が高くなってしまったという状況です。今後の企業の誘致につきましては、下水道事業だけでなく市全体の課題として検討していきたいと思います。 また、特に吉川市の経費回収率が高い理由としては、料金体系もありますが、そ

	の要因として中継ポンプ場を保有していない点がございます。白岡市は中継ポンプ場が2か所あり、伊奈町は1か所あります。白岡市の立地の問題がありまして、第4中継ポンプ場は市役所庁舎のところにありまして、新白岡方面などから集めた汚水をポンプアップして、流域下水道の管渠に放流しています。第3中継ポンプ場は八幡公園の近くにありまして、土地の低い西地区から集めた汚水をポンプアップする必要があります。2施設とも欠かせない施設となりますので、2施設の維持管理に係る経費がかかっております。吉川市は中川流域の下流に位置しているため、県の管渠が低い位置にあり、中継ポンプ場によるポンプアップがなくても済んでいるのではないかと推測されます。このような事情が、経費回収率の差に表れているのではないかと考えられます。
B 委員	水道料金と下水道料金は、分けて考えなくてはなりません。水道料金が高いというのは家計に直結するもので、どうして近隣市町と違うのかというのは、資料がバラバラだと分かりにくく、料金の安い高いだけの比較になってしまいます。事務局の説明のとおり、料金が安い分、経費回収率が低く、一般会計に負担がかかっていて他に影響を及ぼしているかもしれない。それにかかわらず、水道料金は「高い」という理由を何か工夫して説明する必要があると思います。 下水道料金については、審議会で審議して、企業側も使った分だけの料金がかかるよう企業側でも負担しています。下水道料金に関しては、公共下水道があれば便利になるとは思いますが、工業団地内の各企業では、既に自前の浄化槽を設置しており、公共下水道に接続しなくても面積に応じて全体の工事費に対する受益者負担金がかかってきます。さらに、敷地内から本管に接続するための負担をしなければならないので、企業側もかなりの負担がかかることになります。浄化槽で間に合っているにもかかわらず、これからは費用がかかってきます。これらの内容についてもう少し企業側に説明が必要だと思います。 流通倉庫業ではあまり水道は使用しないため、水道料金は増えません。固定資産税や他の部分での貢献、例えば就労する従業員が増えるなど様々な部分での貢献というものはありますが、それと上下水道に関しては分けて考えなくてはなりません。一般家庭の料金を見る限り、事務局においても、もう少し分かりやすい説明が必要であるのではないかと思います。
事務局	今後、審議会での予定にありますとおり、水道料金の検討もございますので、市民の方に御理解を得られるような分かりやすい説明となるよう工夫したいと思います。
青木会長	他に何か御質問等はございますか。
委員	(なし)
青木会長	何もないようであれば、以上で、本日の議事を終了といたします。委員の皆様の特段の御協力に感謝申し上げまして、議長の任を解かせていただきます。御協力あ

	りがとうございました。
事務局	4 その他 青木会長には、円滑な議事の進行、誠にありがとうございました。
事務局	それでは、次に、「4 その他」について、最後に事務局から2点ほど連絡事項があります。
	① 報酬及び費用弁償の支払いについて ② 次回の会議の開催について
事務局	それでは、ただ今の説明について、御意見・御質問等がございましたらお願いいたします。
委員	(なし)
事務局	御質問がないということなので、議題「4 その他」につきましては以上となります。
事務局	5 閉会 委員の皆様には長時間にわたり、議事の審議をいただき、ありがとうございました。これもちまして、令和6年度第2回白岡市上下水道事業審議会を閉会とさせていただきます。御協力、誠にありがとうございました。